

## イベント情報提供システム

This application claims benefit of Japanese Application No. 2000-215105 filed in Japan on July 14, 2000, the contents of which are incorporated by this reference.

### BACKGROUND OF THE INVENTION

#### 1. Field of the Invention

本発明は、講演会等のイベント会場における情報を提供するイベント情報提供システムに関する。

#### 2. Related Art Statement

従来より、講演会、学会、展示会その他のイベントが場所、時期を問わず催されている。これら各種イベントではさまざまな情報がさまざまな形で提供されている。また、通常の講演会においては、所定の講演が一カ所の会場で順次実施されるか、場合によっては複数の会場で並行して実施される。これら講演の演題等の情報は予め主催者等によって提示されていることが多く、視聴を希望する者はこれら発表された情報に基づいて定められた時刻に定められた場所（会場）に向いて視聴する。

また、多くの講演会等はライブで実施され、視聴者における録音、録画を禁止している場合が多く、主催者側で録音、録画を行わない限り、再度、講演に接することはできなくなっている。

さらに、講演会等のイベントでは、刊行物等から得られる情報と異なる重要な情報が発表されることが多く、技術的革新が著しい昨今においては視聴を希望する者も多くなっている。

ところで、講演会、学会、展示会その他のイベントへの視聴を希望する場合、たとえば、視聴したい講演会等が複数あり、これらが時間的に重なったり、あるいは互いに遠隔の地で開催されるような場合には、所望する全ての講演を視聴することはできない。

また、主催者側から発表される情報以外の情報を外部の者が知ることは難しい

ため、所定の演題にかかる講演に関するさらなる情報を得ることには困難が伴う

さらに、講演等の視聴を希望する者は、定められた時刻に定められた場所（会場）に出向かなければならず、時間、場所に制約を受けると共に、経済的にも負担を強いられる。講演会場が遠隔地である場合などは余計に時間と費用が嵩むことになり、視聴希望者は多大な制約や経済的な負担を強いられることになる。

加えて多くの講演会等はライブで実施されるため、個人的に録音、録画等が許されない限り、繰り返し視聴することは非現実的である。

一方で、主催者側においてイベントに係る種々の情報を録画・記録するか、あるいは主催者との契約による第三者が録画等を行い、後に希望者に提供することは可能であるが、種々開催される講演会の日時、演題等を常に把握することは困難である上、これらの録画情報等の入手方法も容易であるとは言えず、視聴を希望する者は不便を強いられてきた。

#### OBJECT AND SUMMARY OF THE INVENTION

この発明の目的は、所望のイベントに係る情報を適宜取得可能なイベント情報提供システムを提供することである。

簡略に、この発明のイベント情報提供システムは、

イベント会場において少なくとも一つのイベント情報を取得可能なイベント情報取得手段と、

情報利用者が上記イベント会場において取得を要望する少なくとも一つのイベント情報を受け付ける要望情報受付手段と、

上記要望情報受付手段で受け付けた上記情報利用者の要望に応じて、信号伝送路を介して上記イベント情報取得手段で取得したイベント情報のうち、一あるいは複数のイベント情報を当該情報利用者に提供するイベント情報提供手段と、  
を具備する。

This objects and advantages of the present invention will become further apparent from the following detailed explanation.

## BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

図 1 : 本発明の第 1 の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。

図 2 : 上記第 1 実施形態のイベント情報提供システムにおけるコンテンツプロバイダ、ユーザー、広告サーバの作用について説明したフローチャートである。

図 3 : 上記第 1 実施形態のイベント情報提供システムにおいて、ユーザーがコンテンツプロバイダに対してイベントコンテンツ情報の配信を要望する場合の一例を示したフローチャートである。

図 4 : 上記第 1 実施形態のイベント情報提供システムにおいて、ユーザーに対して配信されるコンテンツ情報と広告画面の配置例を示した説明図である。

図 5 : 上記第 1 実施形態のイベント情報提供システムにおいて、ユーザーに対して配信されるコンテンツ情報と広告画面の配置例を示した説明図である。

図 6 : 本発明の第 2 の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。

図 7 : 上記第 2 実施形態のイベント情報提供システムにおけるコンテンツプロバイダ、ユーザー、ユーザーデータベースの作用について説明したフローチャートである。

図 8 : 上記第 2 実施形態のイベント情報提供システムにおいて、ユーザーがコンテンツプロバイダに対してイベントコンテンツ情報の配信を要望する場合の一例を示したフローチャートである。

図 9 : 本発明の第 3 の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。

図 10 : 上記第 3 実施形態のイベント情報提供システムにおけるコンテンツプロバイダ、ユーザー、ユーザーデータベースの作用について説明したフローチャートである。

図 11 : 本発明の第 4 の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。

図 12 : 上記第 4 実施形態のイベント情報提供システムの作用について説明したフローチャートである。

## DETAILED DESCRIPTION OF THE PREFERRED EMBODIMENTS

以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。

図1は、本発明の第1の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。

なお、本実施形態のイベント情報提供システムにかかる「イベント」とは、たとえば講演会、学会および展示会等、所定の時間（期間）に所定の場所において所定の情報を発信する情報源発生場所を想定する。

この第1実施形態のイベント情報提供システムは、イベントにおける種々の情報を入手してこれら情報のうち所定の情報を利用者に提供する情報提供者において、情報利用者の希望するイベントに係る情報と、当該情報提供者自らが予測した情報とを予め入手し、これら入手した複数の情報を情報利用者に提示した上で情報利用者が選択した情報を該情報利用者に対して配信することを特徴とする。

図1に示すように、上記情報提供者（以下、コンテンツプロバイダと称す）1は、共通のプロトコルと共通のアドレス体系を有し通信回線等の信号伝送路を介して相互に接続されているネットワークの集合体、いわゆるインターネットに接続され、主として、イベント（本実施形態においては、講演会を想定する）3に係る所定の情報を入手して、これら情報のうち所定の情報を利用者（以下、ユーザーと称す）2に提供する。

コンテンツプロバイダ1は、インターネットを介して公開する独自のホームページ（HP）を持ち、イベント3に係る演題、開催日時等の付随的情報を公開すると共に、ユーザー2からの要望等のデータを受け付ける。

ユーザー2は、図においてはユーザー端末として現れる。この端末はインターネットに接続可能であって、所定のブラウザ系ソフトウェアを実行することでコンテンツプロバイダ1に係る所定のコンテンツ情報や、（後述する）広告サーバ5から配信される広告情報を表示することが可能な情報端末機器（例えばパーソナルコンピュータ）で構成される。

イベント3の講演会に係る情報としては、種々の情報が考えられるが、本実施形態では、たとえば講演時の撮影情報（具体的には、発表時の風景、音声等の画

像、音声情報）や、発表原稿、発表資料、講演者のプロフィールその他の発表内容情報、（以下、講演直接情報と称す）さらには、講演に付随する情報（たとえば、講演題目、講演者名、講演日時、講演場所等）を想定する。

これらの情報のうち、発表風景、音声等の撮影情報は、たとえば、コンテンツプロバイダ1（業者として）の管理下にTVカメラ6で撮影され、所定の書式に変換された後、情報データベース4に格納される。

また、発表原稿、発表資料、発表者のプロフィールその他の発表内容情報、および付随情報は、イベント3の主催者の管理下にあるインターネットに接続されたデータサーバー（たとえばパーソナルコンピュータ）7により、ネットワーク経由で情報データベース4に格納される。なお、TVカメラ6での撮影情報を情報データベース4に格納する手段、手法や、パーソナルコンピュータ7で得た情報を情報データベース4に格納する手段、手法については、公知の技術を用いるものとし、ここでの詳しい説明は省略する。

また、同インターネット上には、当該コンテンツプロバイダ1の管理下にある情報データベース4が存在する。この情報データベース4は、コンテンツプロバイダ1の管理下にイベント3に係る所定の情報を格納する。

さらに、同インターネット上には、インターネットを介して所定の広告画面を契約した利用者に配信する広告サーバ5が存在する。この広告サーバ5は多種の広告情報を扱うサーバであり、コンテンツプロバイダ1からの配信依頼を受け、所定の広告データをコンテンツプロバイダ1に送信するようになっている。また、コンテンツプロバイダ1から配信依頼を受ける際、コンテンツプロバイダ1が把握するユーザー2の個人情報を受け、該ユーザー2に即した広告を選択して用意し、これをコンテンツプロバイダ1に送信するようになっている。なお、コンテンツプロバイダ1がユーザー2に当該広告を配信した回数に基づいて、広告サーバ5はコンテンツプロバイダ1から課金されるようになっている。

次に、図 2 に示すフローチャートおよび図 1 を参照して、コンテンツプロバイダ 1、ユーザー 2、広告サーバ 5 の作用について説明する。なお、図 2 中、中程のフローはコンテンツプロバイダ 1（情報データベース 4 を含む）、左側は広告サーバ 5、右側はユーザー 2 の作用をそれぞれ示す。また、各ステップにはそれ

ぞれステップ番号を付与する。さらに、コンテンツプロバイダ 1 とユーザー 2 との間等、各要素間にまたがる作用には、ステップ番号とは別に # n n n で記す番号を付与する。

まず、コンテンツプロバイダ1は、予めイベント3から情報提供を受けた講演会の付随的情報、たとえば、講演題目、講演者名、講演日時、講演場所等を自身のホームページ（HP）上に掲載する（ステップS101）。

ユーザー2は、インターネットを介して当該コンテンツプロバイダ1のホームページを所定のブラウザソフトウェアを用いて閲覧し、講演会の付随的情報を得る(ステップS102)。そして、視聴を希望する講演がある場合、当該ブラウザ上で講演の講演題目、講演日時、講演者氏名等の項目に適宜データを入力して、コンテンツプロバイダ1に対して所望するコンテンツ(撮影情報、発表内容情報等の講演直接情報等)を入手するよう要求する(図1、図2における#101)。また、このとき、ユーザー2は、個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号、メールアドレス等を入力して、コンテンツプロバイダ1に送信する。

ここで、上記ステップS102、#101における工程、すなわち、ユーザー2が所望するイベント3のコンテンツ情報をコンテンツプロバイダ1に対して要望する工程について、図3のフローチャートを参照して具体的な例を挙げて説明する。

図3は、本実施形態のイベント情報提供システムにおいて、ユーザーがコンテンツプロバイダに対してイベントコンテンツ情報の配信を要望する場合の一例を示したフローチャートである。

ユーザー 2 は、インターネットを介してコンテンツプロバイダ 1 のホームページ上でイベント 3（講演会）の付随的情報（講演会の演題、講演者等）を確認すると（ステップ S 1 2 1）、視聴を希望する講演会の演題、講演日時、会場等を選択または記入する（ステップ S 1 2 2）。次に、ユーザー 2 は、ブラウザ上でユーザーの個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号等を記入するほか（ステップ S 1 2 3）メールアドレスを記入する（ステップ S 1 2 4）。この後、ユーザー 2 は入力内容を確認（ステップ S 1 2 5）後、上記データをコンテンツプロバイダ 1 に対して送信する（ステップ S 1 2 6）。

なお、コンテンツプロバイダ1のホームページは、複数のユーザーが同時に閲覧することができ、また、上記#101におけるユーザーからの要求についても、コンテンツプロバイダ1は複数のユーザーからの要求受け付けを可能としている。

コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2からの要求(#101)を受けて、各ユーザー(ユーザーが複数いる場合を想定)が要望するコンテンツ情報を集約する。また、コンテンツプロバイダ1は、独自に入手することが望ましいイベント3に係るコンテンツ(撮影情報、発表内容情報等の講演直接情報等)を抽出する(ステップS103)。コンテンツプロバイダ1は、これら集約・抽出結果に基づいて入手すべきコンテンツを決定すると共に、これらコンテンツ情報の記録、保存方法を決定し(ステップS104)、決定された記録・保存方法で当該コンテンツを入手するよう、所定の機関に対して指示を行う(#102)。

指示された所定機関はイベント3のコンテンツ情報を記録する他、コンテンツプロバイダ1に対して発表内容情報等を提供する(ステップS105)。これら各種情報は、コンテンツプロバイダ1の管理下にある情報データベース4に格納される(#103)。

なお、指示された所定機関によるイベント3のコンテンツ記録・保存方法としては、本実施形態のイベント情報提供システムでは以下の方法を想定する。

イベント3の撮影情報は、コンテンツプロバイダ1の管理者からの依頼を受けた業者あるいはコンテンツプロバイダ1の管理者自らが、TVカメラ6等を用いてイベント3を撮影することで必要なコンテンツ情報を入手する。この情報は適宜、編集、書式変換等を施された後、情報データベース4に格納される。

また、イベント3の発表内容情報は、コンテンツプロバイダ1がインターネット等を介してイベント3の主催者の管理下にあるデータサーバー(たとえばパーソナルコンピュータ)7にアクセスし、該データサーバーより、必要な情報をネットワーク経由で入手して情報データベース4に格納する。

情報データベース4に格納されたイベント3のコンテンツ情報は、コンテンツプロバイダ1に送信される(#104)。コンテンツプロバイダ1は、得たコンテンツに係る付随的な情報を適宜、自身のホームページに掲載する(ステップS

106)。すなわち、ユーザー2から希望を募った結果（複数のユーザーから希望があった場合は、この要望を適宜処理する）およびコンテンツプロバイダ1自身が抽出した結果により得たイベント3コンテンツ情報に付随する情報がホームページに掲載される。

ユーザー2は、インターネットを介して当該コンテンツプロバイダ1のホームページを所定のブラウザソフトウェアを用いて閲覧し、コンテンツプロバイダ1が入手した講演会の付随的情報（講演会の演題、講演者等）を得る（ステップS107）。そして、所望の講演がある場合、すなわち該講演に係るコンテンツの配信を望む場合、当該ブラウザ上で所定項目に適宜データを入力し、配信を望むコンテンツを選択してコンテンツプロバイダ1に対して配信を要求する（ステップS107、#105）。

このステップS107、#105における工程、すなわち、ユーザー2が所望するイベント3のコンテンツ情報をコンテンツプロバイダ1に対して配信を要求する工程も、上記図3に示すフローチャートに沿うものである。

すなわち、ユーザー2は、インターネットを介してコンテンツプロバイダ1のホームページ上で、コンテンツプロバイダ1が用意したイベント3（講演会）の講演会の演題、講演者等を確認すると（ステップS121）、視聴を希望する講演会の演題、講演日時、会場等を選択または記入する（ステップS122）。次に、ユーザー2は、ブラウザ上でユーザーの個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号等を記入するほか（ステップS123）メールアドレスを記入する（ステップS124）。この後、ユーザー2は入力内容を確認（ステップS125）後、上記データをコンテンツプロバイダ1に対して送信する（ステップS126）。この送信操作により、ユーザー2はコンテンツプロバイダ1に対して所定のイベント3（講演会）に係るコンテンツ情報の配信を要求したことになる。

図2に戻って、コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2からコンテンツ情報の配信を要求されると（#105）、広告サーバ5に対して当該ユーザー2に係る個人情報を送信すると共に広告画面の配信を依頼する（ステップS108）。さらに、コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2からのコンテンツ情報の配信要求を受けて選択された講演に係るコンテンツ情報の表示準備を行う（ステップS1



08)。

広告サーバ5は、ユーザー2に係る個人情報を受信すると共に広告画面の配信依頼を受けると(#106)、受信したユーザー2の個人情報に基づいて個々のユーザー2に応じた広告画面を用意して該画面データをコンテンツプロバイダ1に対して送信する(ステップS110、#107)。

コンテンツプロバイダ1は、広告サーバ5から広告画面データを受信すると(#107)、広告サーバ5に対して課金すべく、ユーザー2に対して該広告画面を送信する回数をカウントする(ステップS112)。

コンテンツプロバイダ1は、上記ステップS108において準備したコンテンツ情報に係る表示画面と、上記ステップS110において用意された広告画面とを所定の画像処理において合成し(ステップS109)、インターネットを介してユーザー2に対してコンテンツ情報と広告画面とを配信する(#108)。

図4と図5は、ユーザー2に対して配信されるコンテンツ情報と広告画面の配置例を示した説明図である。

ユーザー2は、インターネットを介してコンテンツプロバイダ1からコンテンツ情報と広告画面とを受信し、所望のコンテンツ情報を視聴する(ステップS111)。

一方、コンテンツプロバイダ1は、上記ステップS112においてカウントした広告画面の送信回数に応じて、広告サーバ5に対して課金請求を行う(ステップS113、#109)。

広告サーバ5は、コンテンツプロバイダ1からの課金請求(#109)に対して、請求を確認の上、所定料金を支払う(ステップS114)。

このように本実施形態のイベント情報提供システムによれば、ユーザー2が望むイベント(講演会)に係る情報を任意の時に何度でも無料で取得することが可能なイベント情報提供システムを提供することができる。

次に本発明の第2の実施形態のイベント情報提供システムについて説明する。

図6は、本発明の第2の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。なお、図中、上記第1の実施形態と同様の構成要素には同一の符号を付与するものとし、重複を避けるためここでの詳しい説明は省略する。

この第2実施形態のイベント情報提供システムは、イベントにおける種々の情報を入手してこれら情報のうち所定の情報を利用者に提供する情報提供者において、情報利用者の希望するイベントに係る情報と、当該情報提供者自らが予測した情報とを予め入手し、これら入手した複数の情報を情報利用者に提示した上で情報利用者が選択した情報を該情報利用者に対して課金して配信することを特徴とする。

図6に示すように、コンテンツプロバイダ1は、上記第1実施形態と同様に、いわゆるインターネットに接続され、主として、イベント3に係る所定の情報を入手して、これら情報のうち所定の情報をユーザー2に提供する。

コンテンツプロバイダ1は、インターネットを介して公開する独自のホームページ（HP）を持ち、イベント3に係る演題、開催日時等の付随的情報を公開すると共に、ユーザー2からの要望等のデータを受け付ける。

ユーザー2は、図においてはユーザー端末として現れる。この端末はインターネットに接続可能であって、所定のブラウザ系ソフトウェアを実行することでコンテンツプロバイダ1に係る所定のコンテンツ情報を表示することが可能な情報端末機器（例えばパーソナルコンピュータ）で構成される。

イベント3は、本実施形態においても講演会等を想定し、この講演会に係る情報として、たとえば講演時の撮影情報（具体的には、発表時の風景、音声等の画像、音声情報）や、発表原稿、発表資料、講演者のプロフィールその他の発表内容情報、（以上、講演直接情報とする）さらには、講演に付随する情報（たとえば、講演題目、講演者名、講演日時、講演場所等）を想定する。

これらの情報のうち、発表風景、音声等の撮影情報は、たとえば、コンテンツプロバイダ1（業者として）の管理下にTVカメラ6で撮影され、所定の書式に変換された後、情報データベース4に格納される。

また、発表原稿、発表資料、発表者のプロフィールその他の発表内容情報、および付随情報は、イベント3の主催者の管理下にあるインターネットに接続されたデータサーバー（たとえばパーソナルコンピュータ）7により、ネットワーク経由で情報データベース4に格納される。なお、TVカメラ6での撮影情報を情報データベース4に格納する手段、手法や、パーソナルコンピュータ7で得た情

報を情報データベース4に格納する手段、手法については、公知の技術を用いるものとし、ここでの詳しい説明は省略する。

また、同インターネット上には、当該コンテンツプロバイダ1の管理下にある情報データベース4が存在する。この情報データベース4は、コンテンツプロバイダ1の管理下にイベント3に係る所定の情報を格納する。

さらに、同インターネット上には、当該コンテンツプロバイダ1の管理下にあるユーザーデータベース8が存在する。このユーザーデータベース8は、コンテンツプロバイダ1と契約したユーザー2の個人情報を扱うサーバであり、コンテンツプロバイダ1からユーザー2の情報を受け、登録し、ユーザー2に対する課金の支払方法等の確認等を行う。

次に、図7に示すフローチャートおよび図6を参照して、コンテンツプロバイダ1、ユーザー2、ユーザーデータベース8の作用について説明する。なお、図7中、中程のフローはコンテンツプロバイダ1（情報データベース4を含む）、左側はユーザーデータベース8、右側はユーザー2の作用をそれぞれ示す。また、各ステップにはそれぞれステップ番号を付与する。さらに、コンテンツプロバイダ1とユーザー2との間等、各要素間にまたがる作用には、ステップ番号とは別に#nnnで記す番号を付与する。

まず、コンテンツプロバイダ1は、予めイベント3から情報提供を受けた講演会の付随的情報、たとえば、講演題目、講演者名、講演日時、講演場所等を自身のホームページ（HP）上に掲載する（ステップS201）。

ユーザー2は、インターネットを介して当該コンテンツプロバイダ1のホームページを所定のブラウザソフトウェアを用いて閲覧し、講演会の付随的情報を得る（ステップS202）。そして、視聴を希望する講演がある場合、当該ブラウザ上で講演の講演題目、講演日時、講演者氏名等の項目に適宜データを入力して、コンテンツプロバイダ1に対して所望するコンテンツ（撮影情報、発表内容情報等の講演直接情報等）を入手するよう要求する（図6、図7における#201）。また、このとき、ユーザー2は、個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号、メールアドレス等および情報を得るに当たって課金される料金の支払方法等を入力して、コンテンツプロバイダ1に送信する。

ここで、上記ステップS 2 0 2、# 2 0 1における工程、すなわち、ユーザー2が所望するイベント3のコンテンツ情報をコンテンツプロバイダ1に対して要望する工程について、図8のフローチャートを参照して具体的な例を挙げて説明する。

図8は、本実施形態のイベント情報提供システムにおいて、ユーザーがコンテンツプロバイダに対してイベントコンテンツ情報の配信を要望する場合の一例を示したフローチャートである。

ユーザー2は、インターネットを介してコンテンツプロバイダ1のホームページ上でイベント3（講演会）の付随的情報（講演会の演題、講演者等）を確認すると（ステップS 2 2 1）、視聴を希望する講演会の演題、講演日時、会場等を選択または記入する（ステップS 2 2 2）。次に、ユーザー2は、ブラウザ上でユーザーの個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号等を記入するほか（ステップS 2 2 3）メールアドレスを記入する（ステップS 2 2 4）。さらに、情報を得るに当たって課金される料金の支払方法等を入力し（ステップS 2 2 5）、入力内容を確認（ステップS 2 2 6）後、上記データをコンテンツプロバイダ1に対して送信する（ステップS 2 2 7）。

なお、コンテンツプロバイダ1のホームページは、複数のユーザーが同時に閲覧することができ、また、上記# 2 0 1におけるユーザーからの要求についても、コンテンツプロバイダ1は複数のユーザーからの要求受け付けを可能としている。

コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2からの要求（# 2 0 1）を受けて、各ユーザー（ユーザーが複数いる場合を想定）が要望するコンテンツ情報を集約する。また、コンテンツプロバイダ1は、独自に入手することが望ましいイベント3に係るコンテンツ（撮影情報、発表内容情報等の講演直接情報等）を抽出する（ステップS 2 0 3）。コンテンツプロバイダ1は、これら集約・抽出結果に基づいて入手すべきコンテンツを決定すると共に、これらコンテンツ情報の記録、保存方法を決定し（ステップS 2 0 4）、決定された記録・保存方法で当該コンテンツを入手するよう、所定の機関に対して指示を行う（# 2 0 2）。

一方で、コンテンツプロバイダ1は、ユーザーデータベース8に対して当該ユ

ーザー2の個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、料金の支払方法等の情報を送り（＃203）、ユーザーデータベース8はこれを登録する（ステップS205）。

上記ステップS204の後、指示された所定機関はイベント3のコンテンツ情報を記録する他、コンテンツプロバイダ1に対して発表内容情報等を提供する（ステップS206）。これら各種情報は、コンテンツプロバイダ1の管理下にある情報データベース4に格納される（＃204）。

なお、指示された所定機関によるイベント3のコンテンツ記録・保存方法としては、本実施形態のイベント情報提供システムでは以下の方法を想定する。

イベント3の撮影情報は、コンテンツプロバイダ1の管理者からの依頼を受けた業者あるいはコンテンツプロバイダ1の管理者自らが、TVカメラ6等を用いてイベント3を撮影することで必要なコンテンツ情報を入手する。この情報は適宜、編集、書式変換等を施された後、情報データベース4に格納される。

また、イベント3の発表内容情報は、コンテンツプロバイダ1がインターネット等を介してイベント3の主催者の管理下にあるデータサーバー（たとえばパーソナルコンピュータ）7にアクセスし、該データサーバーより、必要な情報をネットワーク経由で入手して情報データベース4に格納する。

情報データベース4に格納されたイベント3のコンテンツ情報は、コンテンツプロバイダ1に送信される（＃205）。コンテンツプロバイダ1は、得たコンテンツに係る付随的な情報を適宜、自身のホームページに掲載する（ステップS207）。すなわち、ユーザー2から希望を募った結果（複数のユーザーから希望があった場合は、この要望を適宜処理する）およびコンテンツプロバイダ1自身が抽出した結果により得たイベント3コンテンツ情報に付随する情報がホームページに掲載される。

ユーザー2は、インターネットを介して当該コンテンツプロバイダ1のホームページを所定のブラウザソフトウェアを用いて閲覧し、コンテンツプロバイダ1が入手した講演会の付随的情報（講演会の演題、講演者等）を得る（ステップS208）。そして、所望の講演がある場合、すなわち該講演に係るコンテンツの配信を望む場合、当該ブラウザ上で所定項目に適宜データを入力し、配信を望

むコンテンツを選択してコンテンツプロバイダ1に対して配信を要求する（ステップS208、#206）。

このステップS208、#206における工程、すなわち、ユーザー2が所望するイベント3のコンテンツ情報をコンテンツプロバイダ1に対して配信を要求する工程も、上記図8に示すフローチャートに沿うものである。

すなわち、ユーザー2は、インターネットを介してコンテンツプロバイダ1のホームページ上で、コンテンツプロバイダ1が用意したイベント3（講演会）の講演会の演題、講演者等を確認すると（ステップS221）、視聴を希望する講演会の演題、講演日時、会場等を選択または記入する（ステップS222）。次に、ユーザー2は、ブラウザ上でユーザーの個人情報、たとえば、住所、氏名、電話番号等を記入するほか（ステップS223）メールアドレスを記入する（ステップS224）。さらに、情報を得るに当たって課金される料金の支払方法等を入力し（ステップS225）、入力内容を確認（ステップS226）後、上記データをコンテンツプロバイダ1に対して送信する（ステップS227）。この送信操作により、ユーザー2はコンテンツプロバイダ1に対して所定のイベント3（講演会）に係るコンテンツ情報の配信（課金の上）を要求したことになる。

図7に戻って、コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2からコンテンツ情報の配信を要求されると（#206）、ユーザーデータベース8に対してユーザー2の紹介を行う（ステップS209、#207）。

ユーザーデータベース8は、コンテンツプロバイダ1からのユーザー2の紹介を受け、ユーザー2の個人情報の整合や、料金支払方法が妥当であるか否かを判断して（ステップS210）、正しくない場合は、ユーザー2に対して再度の入力を促す。

また、ステップS210において、ユーザー2の個人情報、支払方法等が正しく入力されているとの確認がとれれば（#208）、コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2によって選択された講演会の演題等をホームページ上に表示して（ステップS211）、ユーザー2に対して課金に当たっての金額、支払い条件の確認する（ステップS212）。

ユーザー2は、このコンテンツプロバイダ1のホームページ上で示される最終

的な選択項目及び金額、支払い条件等を確認の上、これを了承する（ステップS 213）。

コンテンツプロバイダ1は、ユーザー2による支払いの了承を受けて（ステップS 214）、ユーザー2が配信を要求したイベント3（講演会）に係るコンテンツ情報をユーザー2に対して配信する（ステップS 215、#209）。ユーザー2は、配信された画像を視聴し、所定の方法により料金を支払う（ステップS 216、#210）。

このように本実施形態のイベント情報提供システムによれば、ユーザー2が望むイベント（講演会）に係る情報を任意の時に何度でも低価格で取得することが可能なイベント情報提供システムを提供することができる。

次に本発明の第3の実施形態のイベント情報提供システムについて説明する。

図9は、本発明の第3の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。なお、図中、上記第1、第2の実施形態と同様の構成要素には同一の符号を付与するものとし、重複を避けるためここでの詳しい説明は省略する。

この第3実施形態のイベント情報提供システムは、上記第2の実施形態のイベント情報提供システムに比して、コンテンツプロバイダ1がそのホームページ上に、ユーザー2からの要望を受けて取得したイベント3に係る付随的情報を掲載する際、同時にユーザー2に対して電子メールでその旨の連絡を行うことを特徴とするものである。したがって、その他の構成、作用については第2の実施形態と同様であり、ここでは、差異のみの言及にとどめる。

図10は、本第3実施形態のイベント情報提供システムのコンテンツプロバイダ1、ユーザー2、ユーザーデータベース8の作用について示したフローチャートであるが、ステップS 301～ステップS 307までと、ステップS 313～ステップS 320は、上記第2実施形態の図7におけるステップS 201～ステップS 207までと、ステップS 209～ステップS 216と同様である。図9、図10における#301～#305で示す作用は、図6、図7における#201～#205に対応し、#307～#311で示す作用は、図6、図7における#206～#210に対応する。

以下、コンテンツプロバイダ1がそのホームページ上に、ユーザー2からの要望を受けて取得したイベント3に係る付随的情報を掲載する際、同時にユーザー2に対して電子メールでその旨の連絡を行う作用について、図10および図9を参照して説明する。

コンテンツプロバイダ1は、ステップS307において、コンテンツプロバイダ1のホームページ上に、ユーザー2からの要望を受けて（ステップS302、#301）取得した（ステップS306）イベント3に係る付随的情報を掲載すると、当該ユーザー2に対して掲載した旨を電子メールで連絡する（ステップS308）。ユーザー2はこの電子メールを受けて（#306）、ユーザー2が要望するイベント3にかかる情報をコンテンツプロバイダ1が取得したことを知ることができる（ステップS309）。

これにより、ユーザー2は、インターネットを介して当該コンテンツプロバイダ1のホームページを所定のブラウザソフトウェアを用いて閲覧し、コンテンツプロバイダ1が入手した講演会の付随的情報（講演会の演題、講演者等）を得る（ステップS310）。そして、所望の講演がある場合、すなわち該講演に係るコンテンツの配信を望む場合、当該ブラウザ上で所定項目に適宜データを入力し、配信を望むコンテンツを選択してコンテンツプロバイダ1に対して配信を要求する（ステップS310）。以下、第2の実施形態と同様である。

一方、ステップS308において、ユーザー2に電子メールで連絡をした後、コンテンツプロバイダ1は、当該ホームページに該当するユーザー2が所定時間内にアクセスしたか否かを監視し（ステップS311）、所定時間内に当該ユーザー2のアクセスがない場合、ユーザーデータベース8を用いて未アクセスのユーザーをリストアップして（ステップS312）、再度、ユーザー2に対して電子メールで情報取得済みの旨を連絡する。

このように本第3実施形態のイベント情報提供システムによれば、上記第2の実施形態の効果に加え、ユーザー2に対してより迅速、的確に情報取得の旨を通知することができ、ユーザー2に対してはイベント3の情報をいち早く視聴する機会を与え、コンテンツプロバイダ1に対してはより確かな収入取得の機会を与えることができる。



次に本発明の第４の実施形態のイベント情報提供システムについて説明する。

図１１は、本発明の第４の実施形態であるイベント情報提供システムの概要を示した説明図である。なお、図中、上記第１の実施形態と同様の構成要素には同一の符号を付与するものとし重複を避けるためここでの詳しい説明は省略する。

この第４実施形態のイベント情報提供システムは、上記第１の実施形態と同様な構成をなすイベント情報提供システムのさらなる活用例として考えられたものであり、ユーザー２として想定したパーソナルコンピュータ端末機を当該イベント３会場に設置し、イベント３に訪れた参加者に所定の情報を提供することを特徴とする。

以下、本実施形態の作用を図１２に示すフローチャートを参照して説明する。

コンテンツプロバイダ１は、イベント３（講演会）の様子を撮影した画像情報を取得し、この画像情報をユーザー２（本実施形態においては、イベント３の各会場毎に設置したモニタ画面）に提供する。そして、当該画像情報がモニタ画面に表示されていない場合（ステップＳ４０１）、広告サーバ５より所定の広告情報の配信を受ける（ステップＳ４０２、＃４０１）。このとき、モニタ画面には、何も表示されないで、所定の広告画像が全画面表示される（ステップＳ４０３）。

コンテンツプロバイダ１は、この広告画像の表示時間を計測し（ステップＳ４０４）、予め広告主との間で契約された所定時間に達すると（ステップＳ４０５）、表示回数をカウントして（ステップＳ４０６）、モニタ画面上での広告を終了する（ステップＳ４０７）と共に、広告主に課金する（ステップＳ４０８）。

In this invention, it is apparent that working modes different in a wide range can be formed on this basis of this invention without departing from the spirit and scope of the invention. This invention is not restricted by any specific embodiment expect being limited by the appended claims.